

平成30年度工学部の学部改組による入学者選抜方法等の変更について（予告）

工学部では、平成30年4月から改組を計画しており、平成30年度以降の入学者選抜方法等については、以下のとおり予定しています。

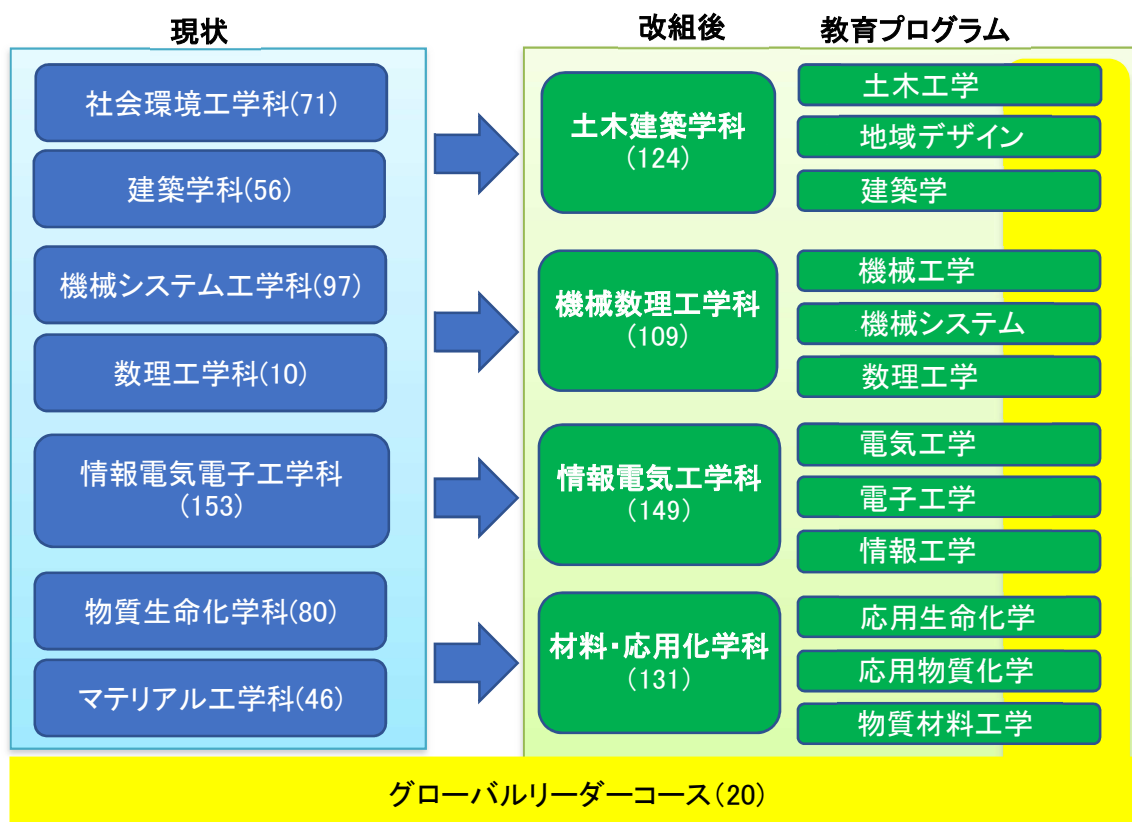
なお、この内容は予定であり、変更する場合があります。改組に関する情報は、本学ホームページ等で随時公表しますので、定期的に確認してください。

※本計画が認められない場合は、平成29年度入学者選抜試験と同様の募集を行います。

1. 学部改組の概略

平成30年4月から、工学部において現行の7学科（物質生命化学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、社会環境工学科、建築学科、情報電気電子工学科、数理工学科）を4学科（土木建築学科、機械数理工学科、情報電気工学科、材料・応用化学科）に再編する学部改組を計画しています。

新たに設置する4学科には、工学の専門分野に対応したそれぞれ3つの教育プログラム、計12教育プログラムを新たに設置します。（図1）



513名 ⇒ 513名

図1 改組概要図（括弧内の数字は、各学科定員、グローバルリーダーコースの定員は各学科定員の内数）

2. 各学科・プログラムの概要

土木建築学科

・土木工学教育プログラム

土木工学教育プログラムでは、社会基盤施設の調査・計画・設計・建設・管理、資源循環型の環境保全に関する幅広い視野と知識、および高い専門技術力を有する人材の育成を目的とします。

・地域デザイン教育プログラム

地域デザイン教育プログラムでは、防災・減災、まちづくり、景観デザインなど複雑な地域社会の諸問題に対して、具体的な課題を明確にして解決策を導き、まちづくりや公共政策の実践の中で次世代型社会システムを構築できる能力を持った人材の育成を目的とします。

・建築学教育プログラム

建築学教育プログラムでは、理系と文系の領域を合わせもつ建築という学問分野を総合的に把握する能力とバランス感覚を持ち、快適性、安全性、利便性、環境調和性、芸術性などを総合的に考慮しながら、魅力的で持続可能な建築や都市を創造できる能力を持った人材の育成を目的とします。

機械数理工学科

・機械工学教育プログラム

機械工学教育プログラムでは、ものづくりの基幹となる機械要素技術（熱・流体、エネルギー変換、材料強度、精密加工）の専門知識・技術やこれらを幅広い問題に活かすことができる基礎力・応用力を持った人材の育成を目的とします。

・機械システム教育プログラム

機械システム教育プログラムでは、生産プロセス（コンピュータ技術を駆使した信号の計測処理・システム制御）に関する知識・技術やこれらを幅広い問題に活かすことができる基礎力・応用力を持った人材の育成を目的とします。

・数理工学教育プログラム

数理工学教育プログラムでは、広い分野にわたる工学的知識およびその分野に熟練し創造できるための基礎となる数学的能力を有し、工学と数学の融合を目指し、実行し、新しい分野をも創造しうる能力を持った人材の育成を目的とします。

情報電気工学科

・電気工学教育プログラム

電気工学教育プログラムでは、電気エネルギーの効率的利用など幅広い電気技術に関する専門知識を備え、温かい人間社会をエネルギー分野から支える使命感と正しい倫理観を持ち、次世代につながる新たな社会基盤を創造できる能力を有する人材の育成を目的とします。

・電子工学教育プログラム

電子工学教育プログラムでは、電子情報システムに関する広範な専門知識を備え、人と環境の調和を目指した社会構築に貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観、電子情報分野における新しいものづくりのもとになる能力を持った人材の育成を目的とします。

・情報工学教育プログラム

情報工学教育プログラムでは、情報通信技術やその応用に関する専門知識、急速な技術革新と応用分野の拡大に柔軟に対応できる能力、豊かで安心・安全な高度情報化社会の実現に貢献する使命感を備えた創造性を有する人材の育成を目的とします。

材料・応用化学科

・応用生命化学教育プログラム

応用生命化学教育プログラムでは、化学、生物学、物理学の基礎知識と化学および生化学の専門的素養の調和・融合の能力、立体的思考をするための広い視野と感性、化学・生命化学に関わるあらゆる問題に積極的かつ柔軟に対応できる能力を持った人材の育成を目的とします。

・応用物質化学教育プログラム

応用物質化学教育プログラムでは、多様な教養的素養と物理学および化学の基礎知識に加え、物質化学に関する専門性を深める事で広い視野と好奇心、社会のあらゆる問題に科学技術の立場から積極的かつ柔軟に貢献する高い意識、国際的な舞台で活躍できる能力を備えた人材の育成を目的とします。

・物質材料工学教育プログラム

物質材料工学教育プログラムでは、材料工学の基礎知識とそれに関連する一般工学の基礎知識に加え、地球環境の保全や人間社会の発展および人類の福祉・幸福への貢献を考慮した上で国際的な視点から材料工学の未来像と関係づけて課題が探究できる能力、その解決にむけて実験計画を設定できる能力、成果をまとめ発表できるコミュニケーション能力、世代を越えて協力者と協調できるチームワーク能力を備えた人材の育成を目的とします。

3. 改組が確定した場合の平成30年度入学者選抜方法（平成30年4月入学）

改組が確定した場合，工学部における平成30年4月入学者の一般入試及び特別入試における選抜方法等は次のとおりとなります。

- ① 平成30年度入学者選抜の募集定員，大学入試センター試験の指定教科・科目，個別学力検査の出題教科・科目及び配点などの選抜方法は，**現行の工学部7学科で予定している選抜方法で実施します。**詳しくは平成29年6月発表予定の平成30年度熊本大学入学者選抜要項へ掲載しますので，該当するページを参照してください。
- ② 出願した学科で合格すれば対応する学科・教育プログラムに所属します（表1）。改組後の教育プログラムに対応する学科に出願して下さい。

表1 改組実施の場合の学科対応表（平成30年度入試に限る）

改組後（入学時の所属）		改組前（選抜時）
土木建築学科	土木工学教育プログラム	社会環境工学科
	地域デザイン教育プログラム	
	建築学教育プログラム	建築学科
機械数理工学科	機械工学教育プログラム	機械システム工学科
	機械システム教育プログラム	
	数理工学教育プログラム	数理工学科
情報電気工学科	電気工学教育プログラム	情報電気電子工学科
	電子工学教育プログラム	
	情報工学教育プログラム	
材料・応用化学科	応用生命化学教育プログラム	物質生命化学科
	応用物質化学教育プログラム	マテリアル工学科
	物質材料工学教育プログラム	

※現行の学科の教育内容に対応する教育プログラムが，改組後の各学科で準備されており，同様に学ぶことができます。

4. 改組が確定した場合の平成31年度入学者選抜方法（平成31年4月入学）

平成31年度入試では，改組後の4学科の募集定員，大学入試センター試験の指定教科・科目，個別学力検査の出題教科・科目で実施予定です。詳細は本学ホームページ「平成31年度熊本大学入学者選抜における学力検査実施教科・科目等について」を参照してください。

【本件に関するお問い合わせ先】

- ・入試に関すること 学生支援部 入試課 096-342-2148
- ・教育プログラム等に関すること
 教育研究支援部 自然科学系事務課 工学部教務担当 096-342-3522